

明けましておめでとうございます。輝かしい令和2年の新春にあたり、心からお慶び申し上げます。

干支は「庚子^{かのえね}」年になりますので、変化が生まれる可能性や新たな生命の兆しに期待するとともに、新しいことへのチャレンジが生まれる一年となりそうです。

さて、昨年は全国的に台風や豪雨による災害が頻発しました。関東や北陸、東北地方だけでなく、九州の各地でも大きな被害を受けましたが、伊佐市では目立った被害はありませんでした。また一昨年の硫黄山

噴火の影響を受けた川内川流域約500ヘクタールの水田も、順調な稲作ができました。これからも安心・安全な暮らしやすい伊佐市を確立して参りたいと思います。

元旦に三社参りをなさる人は多いと思いますが、私は宇宙や生命の源とも呼べる人知を超えた存在、「サムシング・グレート」を意識することがあり、郡山八幡神社をはじめとする市内にある数々の神社を訪ね、伊佐の安寧を祈ることにしています。日本語の「いのり(祈り)」の語源は「生(なり)り(いのり)」とも言われ、「生命の宣言」を意味しているそうです。

今年も東京オリンピック・パラリンピックの開催で、世界の注目が日本に集まり、わが国の経済へも大きな効果が期待されて

一心一向

います。また鹿児島県では「燃ゆる感動かごしま国体」が開催され、伊佐市ではカヌー競技が行われます。人々の交流が盛んになり、本市の多彩な魅力を全国に発信する絶好の機会です。

伊佐市の大事業であります新庁舎建設につきましては、議会や新庁舎建設検討委員会、市民ワークショップなどのご意見を尊重し、精進に事業を進めて参ります。

また、伊佐市は合併して12年目を迎えますので、11月には市長選挙と市議会議員選挙が控えています。市民の皆さまの主体的な参加で、活力溢れる地域づくりができると期待しています。一日一日に感謝の心を忘れず、生きる希望に満ちた、夢と感動を共有していきたいと思えます。愛する伊佐、「ONE TEAM」ラグビー日本代表の精神で、誇らしい伊佐を創っていきましょう。

新しい年の門出にあたり、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りいたしまして私の新年のご挨拶いたします。

感謝の二文字添えて記帳す

年の初めの三社参り

（新鷄）

年頭のごあいさつ

新年

New Years greetings 2020

伊佐市長
隈元 新



新年明けましておめでとうございます。市議会を代表いたしまして、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は元号が「平成」から「令和」に改められ、そして今上天皇の「即位礼正殿の儀」が古き伝統を忠実に再現し、厳かな雰囲気をもって、丁寧に執り行われたことは大変おめでたいこととご即位を衷心からお祝い申し上げます。

さて、昨年は本市においては大きな自然災害こそ発生しませんでした。全国的には未曾有の大型台風の影響で亡くなられた方、家屋の浸水被害を受けられた方、そして未だに避難所生活を余儀なくされている方々がおられます。残念なことではありますが、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに被災されました皆さまにお見舞いを申し上げます。このような自然災害は、いっどこで発生してもおかしくありません。かねてから災害に対する備えをしっかりと準備しておくことが肝要だと痛感させられたところでございます。

ところで、新年はスマートフォン等を活用した5Gにより、生活環境を一層便利にし、ライフスタイルが大きく変化していくと考えられます。今年はきつときつかけの始まりがあつて、それから四方にドミノ倒

「5G」

しのようにどんどん広がり、数年後は八方無碍のごとくであろうと想像いたします。

これからは5Gを活用したライフスタイルに大きな期待を抱き、そして、早く想像を超える時がやってくることを切望して止みません。

折しも今年には56年ぶりに日本で開催される東京五輪・パラリンピックの年です。5Gのお披露目の場になります。まずは日本の技術を総結集して、近未来型のオリンピック運営を成功させ、それが茶の間との一体感の実現に大きく繋がるように強く望んでおり、今から大変楽しみにしているところでございます。

終わりに、市議会といたしましては、これから観光浮揚対策、特別支援学校誘致の推進、伊佐市議会だより等の充実、そして議会改革を積極的に行って参ります。特に、今年には市議会議員の改選の年でもあります。議員定数の適正化を図り、定数を2人減の16人とし、皆さまの負託に応えるべく取り組んで参りますので、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。今上天皇のご加護のもと令和2年が皆さまにとりまして幸多き年となりますようご祈念いたしましたして、年頭のご挨拶といたします。



伊佐市議会議長
緒方 重則

謹賀